

最近の活動報告

バガンのコンタンジ村に1000本を植林！

8月23日から31日まで、学生13名を含む21名が、バガンのコンタンジ村を訪問し、1000本の苗木を植林しました。MJETの今年の植林ツアーは次のような特徴がありました。

● 5大学から13名の学生が参加

今回は、法政大学、玉川大学、東京外国語大学、拓殖大学、立命館大学の5大学から13名の学生さんが参加しました。また、社会人も8名で水文学や育林、教師といった多彩な職業のベテランが参加されました。ベテランと学生という組み合わせで、ツアーの道中でいろいろなお話しが聞けて、学生さんにとっても大変有意義な機会となりました。また、初めてミャンマーを訪問する参加者が多く、心配されましたが、結果オーライで、全員大いに楽しめました。



● Dhamma Vihara 僧院において、瞑想を实践

Dhamma Vihara 僧院において、院長先生から「瞑想とは何か」および「瞑想をどのように実践するべきか」について、お話しをお聞きして、10分間の瞑想を行いました。初めて瞑想をする人も多かったのですが、姿勢をリラックスさせてから、心を無にして呼吸を深くゆっくりする瞑想の方法を学習しました。



● コンタンジ村で1000本を植林

コンタンジ村では、村人と一緒に2日間で1000本を植林しました。村人は村長

さんを始め、女性と小学生も含む、たくさんの人達が参加され、短時間で作業は効率良く終了しました。MJET チームが訪問する直前まで、バガンには雨が降らなかったそうですが、チーム到着の前日に雨が降り、チームの滞在中は、毎日のように雨が降りました。藤村会長がバガンに来ると雨が降るといので、村人は「フジムラ モー」、つまり「藤村の雨」と呼んでいるそうです。



● 盛り上がったコンタンジ村での交流会

村の青年とのサッカー試合と夜の交流会は、大変盛り上がりました。鈴木夫妻が大活躍され、参加者のテンションも大いに上がりました。サッカーは1対1の引き分けて、MJET チームは遂に対戦成績が五分になりました。

